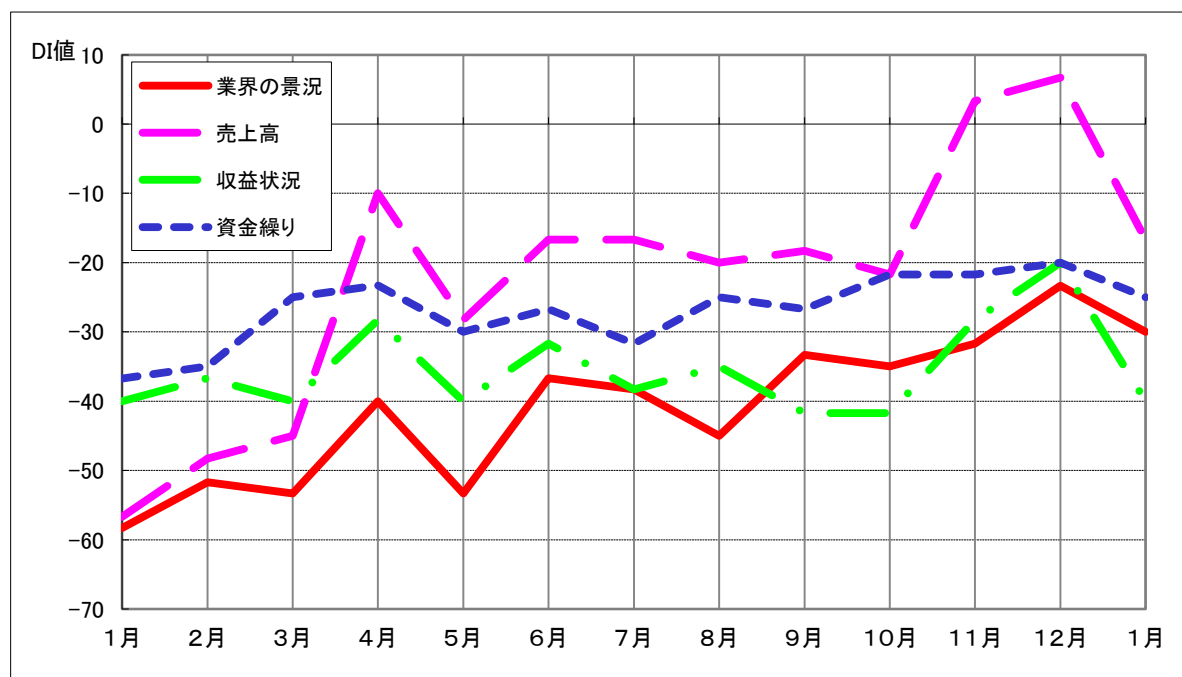


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和3年1月～令和4年1月

単位:ポイント



	R3												R4
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
業界の景況	-58.3	-51.7	-53.3	-40.0	-53.3	-36.7	-38.3	-45.0	-33.3	-35.0	-31.7	-23.3	-30.0
売上高	-56.7	-48.3	-45.0	-10.0	-28.3	-16.7	-16.7	-20.0	-18.3	-21.7	3.3	6.7	-16.7
収益状況	-40.0	-36.7	-40.0	-28.3	-40.0	-31.7	-38.3	-35.0	-41.7	-41.7	-28.3	-20.0	-40.0
資金繰り	-36.7	-35.0	-25.0	-23.3	-30.0	-26.7	-31.7	-25.0	-26.7	-21.7	-21.7	-20.0	-25.0

1月のDI値は前月と比べ、4項目全て悪化となった。「売上高」DI値は23.4ポイント、「収益状況」DI値は20.0ポイント、「業界の景況」DI値は6.7ポイント、「資金繰り」DI値は5.0ポイントそれぞれ悪化した。前年同月比でみると、3項目改善、1項目不変となり、「売上高」DI値は40.0ポイント、「業界の景況」DI値は28.3ポイント、「資金繰り」DI値は11.7ポイント改善し、「収益状況」DI値は不変となった。

連絡員からは、新型コロナウイルス及び新潟県に適用された「まん延防止等重点措置」による影響が寄せられている。小売、卸、商店街では年末年始にかけて売上に回復基調が見え始めていたが、県内の新型コロナウイルスのオミクロン株感染者の急増により「まん延防止等重点措置」が適用され、人流や来店客に大きな減少が見られた。新年会、宿泊、イベントの予約キャンセルも相次ぎ飲食店、ホテル業及び関連業種で減収減益になっている。

組合員からの特記事項として、製造業では引き続き原材料の価格高騰と調達難が発生している。全国的に大手企業で値上げの動きが広がっているが、中小企業において原材料価格上昇分の価格への転嫁は難しい課題となっているが、各企業では徐々に値上げ交渉の動きが見られる。受注量は増加傾向にあるが増収減益となっている。また、一部では人手不足の傾向が見られ、ウイズコロナ下での雇用対策が必要とされている。

非製造業においては「まん延防止等重点措置」の適用により県民割の中止及び飲食店への時短要請を受け大きく来店客が減少した。輸送費や材料の値上がりも厳しい状況に追い打ちをかけている。